

令和6年度当初予算  
令和5年度2月補正予算  
の概要

企画・地域振興部

## 令和6年度当初予算総括表

〔一般会計〕

企画・地域振興部（単位：千円、％）

款名	項名	令和5年度				令和4年度			比較				財源内訳（令和6年度当初予算）			
		12月補正 （経済対策） A	2月補正 （経済対策） B	当初予算額 C	合計 （16か月予算） D=A+B+C	2月補正 （経済対策） E	当初予算額 F	合計 （16か月予算） G=E+F	16か月予算		当初予算		国支出金	地方債	その他	一般財源
									増減 D-G	伸率 D/G	増減 C-F	伸率 C/F				
2款 総務費	1項 総務管理費			20	20		80	80	△ 60	25.0	△ 60	25.0			30	△ 10
	2項 企画費	445,757	132,000	13,476,979	14,054,736	163,611	13,198,086	13,361,697	693,039	105.2	278,893	102.1	517,896	2,738,500	2,909,134	7,311,449
	4項 市町村振興費			1,975,525	1,975,525		2,169,850	2,169,850	△ 194,325	91.0	△ 194,325	91.0	1,091		2,111	1,972,323
	5項 選挙費			111,967	111,967		1,752,243	1,752,243	△ 1,640,276	6.4	△ 1,640,276	6.4	2,268		2	109,697
	7項 統計調査費			810,761	810,761		828,465	828,465	△ 17,704	97.9	△ 17,704	97.9	778,686		220	31,855
合計	445,757	132,000	16,375,252	16,953,009	163,611	17,948,724	18,112,335	△ 1,159,326	93.6	△ 1,573,472	91.2	1,299,941	2,738,500	2,911,497	9,425,314	

〔特別会計〕

会計名	令和5年度				令和4年度			比較				財源内訳（令和6年度当初予算）			
	12月補正 （経済対策） A	2月補正 （経済対策） B	当初予算額 C	合計 （16か月予算） D=A+B+C	2月補正 （経済対策） E	当初予算額 F	合計 （16か月予算） G=E+F	16か月予算		当初予算		国支出金	地方債	その他	一般財源
								増減 D-G	伸率 D/G	増減 C-F	伸率 C/F				
市町村振興基金			22,311	22,311		16,581	16,581	5,730	134.6	5,730	134.6			22,311	

令和6年度当初予算編成に伴う主要施策

(単位：千円)

課(室)名	科目			主要施策 事項名	予算額	前年度 予算額	事業の概要
	款	項	目				
国際政策課	2	2	7	① 海外人材活躍 推進事業費	74,220	0	<p><b>1 事業の目的</b>                      県と国等の海外人材支援の専門機関が一体となった「FUKUOKA IS OPENセンター」(仮)を設置し、海外人材の相談にワンストップで対応するとともに、海外人材が集い、つながる拠点として整備し、安全・快適に暮らし、活躍できる環境の充実を図る。</p> <p><b>2 事業の概要</b></p> <p>(1) 「FUKUOKA IS OPENセンター」(仮)の開設、運営 <b>60,586</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・相談フロア・オンライン機能付コミュニティスペースの整備</li> <li>・海外人材定着のための多言語サポートスタッフの配置 (生活相談に対応するほか、労働者支援事務所の労働相談にも派遣) [言語] ネパール・ベトナム・中・英</li> </ul> <p>(2) 海外人材受入企業の開拓、留学生等の就職支援 <b>13,634</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・受入企業開拓セミナー(年3回・各70社)</li> <li>・トライアルインターンシップ(夏8回・春4回、各回企業5社、留学生20名)</li> <li>・オンライン就活対策セミナー(全10回)等の実施</li> </ul>
地域課	2	2	7	① 福岡県・ バンコク都 アントレプ レナーシップ 人財育成費	7,085	0	<p><b>1 事業の目的</b>                      福岡県とバンコク都の大学生や社会人を相互に派遣し、経済発展や社会変革に貢献するアントレプレナーシップ(起業家精神)を持つ人材を育成する。</p> <p><b>2 事業の概要</b>  <b>アントレプレナーシップ人財育成プログラムを実施</b> <b>7,085</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・時期：令和6年10月～3月(事前研修、バンコク研修、福岡研修)</li> <li>・参加者：スタートアップに関心のある大学生及び社会人(日タイ各6名)</li> <li>・内容：オンラインによる事前研修、相互訪問</li> </ul>

令和6年度当初予算編成に伴う主要施策

(単位：千円)

課(室)名	科目			主要施策 事項名	予算額	前年度 予算額	事業の概要
	款	項	目				
総合政策課	2	2	2	国際金融 機能形成 促進費	106,212	85,783	<p><b>1 事業の目的</b> 「金融・資産運用特区」認定を目指し、国際金融機能の更なる集積を図るため、これまで実施してきたアジアでの活動に加え、資産運用企業やFinTech企業の多く(約6割)が集積する北米での誘致活動を強化する。</p> <p><b>2 事業の概要</b></p> <p><b>(1)新 北米における誘致活動の強化</b> <span style="float:right"><b>29,846</b></span></p> <p>① 北米におけるプロモーションの実施 ・誘致対象企業へのプロモーションのため北米での金融関連展示商談会へ出展</p> <p>② 北米における誘致活動の強化 ・福岡進出の決断を促すため、現地コンサルに委託し対面による誘致活動</p> <p><b>(2)新 「INVEST FUKUOKA(仮称)」の開催</b> <span style="float:right"><b>5,903</b></span></p> <p>・海外の金融機関等が来日する機会に合わせ、都内で開催されるイベントにて福岡への投資プロモーションを実施 (国際金融アドバイザーによる講演やパネルディスカッション、地元企業やスタートアップの紹介等)</p>

令和6年度当初予算編成に伴う主要施策

(単位：千円)

課(室)名	科目			主要施策 事項名	予算額	前年度 予算額	事業の概要		
	款	項	目						
空港政策課	2	2	3	空港整備 促進費	4,360,243 〔市町負担金〕 1,802,846	4,583,895	<p><b>1 事業の目的</b> 西日本地域の交通基盤として重要な役割を果たしている福岡空港、北九州空港の整備を国、関係市町と連携し実施する。</p> <p><b>2 事業の概要</b></p> <p>(1) 福岡空港の滑走路増設等 <u>2,336,333</u></p> <p>(2) 北九州空港の滑走路延長等 <u>2,023,910</u></p>		
				総務費	企業費	地域振興費	<p>直轄事業負担金の割合</p> <table border="1"> <tr> <td>国 2/3</td> <td>都道府県 1/3</td> </tr> <tr> <td>福岡空港 県 60%</td> <td>福岡市 40%</td> </tr> <tr> <td>北九州空港 県 57%</td> <td>北九州市 40% 3% 苅田町</td> </tr> </table>	国 2/3	都道府県 1/3
国 2/3	都道府県 1/3								
福岡空港 県 60%	福岡市 40%								
北九州空港 県 57%	北九州市 40% 3% 苅田町								
空港事業課	2	2	3	北九州空港 対策費	782,804	679,324	<p><b>1 事業の目的</b> 航空貨物の更なる集貨促進や新型コロナウイルス感染症の影響により運休している旅客路線の早期再開に取り組むことにより、北九州空港の利用促進を図る。</p> <p><b>2 事業の概要</b></p> <p>(1) 航空貨物拠点化の推進 <u>594,839</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・<b>新</b> 半導体貨物集貨促進のため運送事業者及び荷主に対して輸送経費を一部助成</li> <li>・<b>新</b> 国内貨物集貨促進のため国内貨物専用便への集貨実績に対する一部助成</li> <li>・ 国際貨物便の運航に係る経費を一部助成</li> <li>・ 国際貨物の運送に係る経費を一部助成</li> </ul> <p>(2) 旅客路線再構築の推進 <u>182,254</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・<b>拡</b> 定期便及びチャーター便の運航に係る経費を一部助成 (国際線チャーター便の助成対象を156便増(78便→234便))</li> </ul> <p>(3) 路線誘致活動他 <u>5,711</u></p>		
				総務費	企業費	地域振興費	北九州空港 広域アクセス 向上事業費	53,121	44,130

令和6年度当初予算編成に伴う主要施策

(単位：千円)

課(室)名	科目			主要施策 事項名	予算額	前年度 予算額	事業の概要
	款	項	目				
交通政策課	2	2	3	MaaSによる 地域公共交通 利用促進費	128,291	88,437	<p><b>1 事業の目的</b> MaaS実証実験を県内各地で展開するとともに、様々なデータを集約・分析し、交通施策に活かすことで、持続可能で多様かつ質の高い地域公共交通の実現を目指す</p> <p><b>2 事業の概要</b></p> <p>(1) 市町村や交通事業者等と連携したMaaS実証実験等を実施 <u>37,047</u></p> <p>① MaaS実施エリアの拡大と地域住民向けデジタル乗車券の造成 [実証エリア] 筑紫圏域、糸島、宗像～糟屋北部</p> <p>② MaaSアプリの利用促進に向けた実態調査・分析 ③ MaaSの普及・啓発</p> <p>(2) モビリティデータ連携基盤によるデータ利活用 <u>66,672</u></p> <p>① データ連携基盤を活用したエリア内分析 [データ例] 交通系ICカード、コミュニティバスの利用実績データ、MaaSアプリによる特典利用場所データ、運行システム関連データ</p> <p>② オープンデータの維持・更新支援 [実施主体] 31市町村(定時定路線のコミュニティバスを運行している市町村) [補助率] 1/2</p> <p>(3) 福岡MaaS実行委員会の運営 <u>1,664</u></p> <p>④ 九州MaaS事業に要する経費 <u>22,908</u></p>
交通政策課	2	2	3	地方バス運行 確保対策費 (新たなモビ リティ導入)	120,130	62,708	<p><b>1 事業の目的</b> AIオンデマンド交通の運行をはじめ、デジタル技術を活用したコミュニティバスの実証運行を支援し、移動ニーズに沿った利便性向上や運行の最適化・効率化を図る</p> <p><b>2 事業の概要</b></p> <p>(1) 新たなモビリティの導入支援 (AIオンデマンド交通) <u>72,442</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>市町村等のAIオンデマンド交通導入に必要な経費(システム導入、車両導入、バス停等整備)、運行費を支援</li> </ul> <p>(2) コミュニティバスの実証運行支援 <u>47,688</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>デジタル技術(オープンデータ化の導入、利用状況のデータ化等)の活用を要件とした市町村等が運行するコミュニティバスの実証運行を支援</li> </ul>

令和6年度当初予算及び令和5年度2月補正予算編成に伴う主要施策

(単位：千円)

課(室)名	科目		主要施策 事項名	予算額	前年度 予算額	事業の概要
	款	項目				
交通政策課	2	2	3	② 地域公共交通 人材確保 対策費 2月補正 132,000 当初 17,229	0	<b>1 事業の目的</b> 極めて深刻なバス・タクシー運転手不足の状況を改善し、日常生活に不可欠な移動手段である地域公共交通の維持・確保を図る。
						<b>2 事業の概要</b> (1) <b>地域公共交通職場環境改善支援補助金</b> <u>132,000</u> 女性や外国人の採用に向けた施設・設備の改修・導入を支援 [補助対象者] バス事業者、タクシー事業者 [補助率] 1/2 (補助上限：500千円) [補助対象事業] トイレや更衣室の整備、通信型ドライブレコーダーの導入 等
						(2) <b>福岡県地域公共交通運転手確保対策実行委員会 (仮称)</b> <u>17,229</u> バス・タクシー運転手の確保に関する協議及び事業を関係機関と連携して実施 ・運転業務の魅力を伝えるPR動画の配信 (SNS、YouTube、Google等) ・運転体験会、合同会社説明会、女性・若手運転手による意見交換会 ・福岡県地域公共交通運転手確保対策実行委員会 (仮称)
				② 鉄道駅 バリアフリー 化促進費 23,750	0	<b>1 事業の目的</b> 鉄道駅をバリアフリー化することで、高齢者、障がい者、妊産婦等、鉄道利用者の移動の利便性及び安全性の向上を図る。
				② 鉄道駅 バリアフリー 化促進費 23,750	0	<b>2 事業の概要</b> (1) ② <b>鉄道駅のバリアフリー化整備に対する支援</b> <u>23,750</u> 鉄道事業者が行う鉄道駅のバリアフリー化整備に要する費用のうち、市町村が負担する額の一部を支援 [補助対象設備] エレベーター・スロープ・多機能トイレ 視覚障がい者誘導用ブロック・情報提案案内板 等 [補助率] 最大1/4
				ユニバーサル デザインタク シー導入推進 費 98,659	66,259	<b>1 事業の目的</b> 国内外からの旅行者等、県内でタクシーを利用するすべての人が安心して円滑に移動できる環境を目指してタクシー車両のバリアフリー化を進める。
				ユニバーサル デザインタク シー導入推進 費 98,659	66,259	<b>2 事業の概要</b> (1) <b>タクシー事業者におけるユニバーサルデザインタクシーの導入支援</b> 1年間あたり328台の導入を支援 (県補助164台/年、国補助164台/年) [補助対象者] タクシー事業者及びリース事業者 [補助率] 1/3 [補助上限額] 600千円/台

令和6年度当初予算編成に伴う主要施策

(単位：千円)

課(室)名	科目			主要施策 事項名	予算額	前年度 予算額	事業の概要
	款	項	目				
政策支援課	2	2	2	福岡県移住・ 定住促進費	169,128	183,139	<b>1 事業の目的</b> 東京圏・大阪圏等から本県への移住促進のためのプロモーション活動を強化する。  <b>2 事業の概要</b> (1) <b>新</b> 大規模イベントへの出展と移住者サロンの同時開催による移住・定住 <u>11,657</u> の促進 ・民間が開催する大規模イベントへ出展(東京・大阪) ・イベント会場において移住者サロンを開催 (県内市町村の子育て・就業・就農・地域での活動などの情報を現地から 中継し、オンラインで市町村と参加者をマッチング)
	総務費	企画調査費	画調査費				
<移住・定住促進事業の既存事業体系(継続)>							
<b>(1) 全国に向けた情報発信 (H26～)</b>					11,021		
○ ガイドブック、WEB、SNSを活用した情報発信 ・移住定住ポータルサイト ・「ふくおかファンクラブ」の運営 ・移住ガイドブックの改訂							
<b>(2) 移住希望者への相談対応 (H27～)</b>					44,037		
○ 移住相談窓口(東京、福岡)の運営							
<b>(3) 移住希望者への体験機会の提供 (R4～)</b>					12,505		
○ 居住・就業・交流体験事業 ○ テレワークを推進する企業と連携した移住促進							
<b>(4) 県内就業・移住の促進 (R2～)</b>					89,908		
○ 移住支援金及び移住希望者への旅費の支給							
<b>合計</b>					<b>157,471</b>		
総合政策課	2	2	1	アンテナレス トランを活用 した福岡県魅 力発信事業費	6,000	0	<b>1 事業の目的</b> 首都圏における本県の魅力発信拠点であるアンテナレストランにより多くの方の 来店を促し、本県の魅力を体感していただくことで、「福岡ファン」となっていた だき、本県の観光・物産の振興を図る。  <b>2 事業の概要</b> (1) <b>新</b> 英語圏外国人向け広報の強化 ・英語圏の富裕層をフォロワーとして多く持つメディア(専門誌・SNS等) を活用し、本県及びアンテナレストランの魅力を外国人の視点でPR



令和6年度当初予算編成に伴う主要施策

(単位：千円)

課(室)名	科目			主要施策 事項名	予算額	前年度 予算額	事業の概要
	款	項	目				
政策支援課	2	2	3	日田彦山線 沿線地域 振興事業費	249,134	202,158	<p><b>1 事業の目的</b> 「福岡県日田彦山線沿線地域振興基金」を活用し、日田彦山線沿線地域の東峰村及び添田町の地域振興を支援する。</p> <p><b>2 事業の概要</b> 県、東峰村、添田町が共同で実施する事業及び東峰村、添田町が実施する地域振興に資する事業 <u>96,172</u></p> <p><b>【主な事業】</b>                      (1) 県、東峰村、添田町が共同で実施する事業                      ・<b>新</b> 沿線地域振興記念事業                      県境の駅である宝珠山駅にモニュメントを設置</p> <p>(2) 東峰村が実施する事業への助成                      ・<b>新</b> 地域資源を活用した特産品（アロマオイル）の開発                      ・<b>新</b> 村内周遊促進のためのデザイン性の高いEV車両の導入</p> <p>(3) 添田町が実施する事業への助成                      ・<b>新</b> 英彦山を中心とした観光戦略を策定                      ・<b>新</b> BRT開業1周年を記念した記念商品（クラフトビール）の開発</p> <p><b>日田彦山線沿線地域振興推進協議会の開催</b> <u>870</u></p> <p><b>日田彦山線沿線地域振興に係る勉強会等の開催</b> <u>991</u>                      地域資源を活用した観光、アルベルゴ・ディフーズ（分散型ホテル）に関する勉強会（シンポジウム）等の開催</p>
日田彦山線沿線地域振興に向けた既存施策体系(継続)							
県、東峰村、添田町が共同で実施する事業							
・BRT利用促進に係るPR事業						11,796	
・英彦山エリアへの海外映画・ドラマのロケーション誘致の推進						4,500	
・芸術による交流促進事業						19,794	
・地域が潤う産業振興を図るための地域資源活用事業						4,072	
東峰村が実施する事業への助成							
・BRT利用促進のためのBRT駅（宝珠山駅、大行司駅、筑前岩屋駅）の整備						101,991	
・災害伝承館リニューアル事業						460	
・観光アクションプランの推進						5,155	
添田町が実施する事業への助成							
・道の駅歓遊舎ひこさん周辺再整備に向けた基本計画策定						3,333	
合計						151,101	

令和6年度当初予算編成に伴う主要施策

(単位：千円)

課(室)名	科目			主要施策 事項名	予算額	前年度 予算額	事業の概要
	款	項	目				
情報政策課	2	2	6	フルデジタル 県庁推進費	106,144	123,507	<p><b>1 事業の目的</b> デジタル技術を活用して、行政のオンライン化や業務効率化及び行政サービスの更なる向上を図るとともに、デジタル人材育成を計画的に行い、県のDX推進体制を確立する。</p> <p><b>2 事業の概要</b></p> <p>(1) <b>行政手続きオンライン化のさらなる推進</b> <u>18,929</u>                      ・オンライン手続きにおけるキャッシュレス決済の拡充                      (R6年4月からクレジットカード等による決済が可能)                      (R6年度内にはQRコード及びコンビニ払いによる決済を追加)</p> <p>(2) <b>デジタルワークの拡大</b> <u>29,008</u>                      ・RPA(定型処理の自動化)、AI-OCR(紙書類のデータ化) <b>新</b> 安全な生成AI                      (質問内容が外部に学習されない環境整備)の活用による業務効率化推進</p> <p>(3) <b>次世代デジタル基盤の構築</b> <u>53,573</u>                      ・モバイルワークに対応した次世代共用PCの配備等</p> <p>(4) <b>新</b> <b>県庁デジタル人材の育成</b> <u>4,634</u>                      ・DX推進の主導的な役割を果たす職員の育成                      ・職員全体のデジタルスキル向上のための研修環境の整備</p>
デジタル 戦略推進室	2	2	6	<b>新</b> 市町村の 生成AI活用 促進費	4,846	0	<p><b>1 事業の目的</b> 市町村における適切な生成AIサービスの利活用を支援し、行政事務の効率化や住民サービス向上を目指す。</p> <p><b>2 事業の概要</b></p> <p>(1) <b>市町村職員合同 生成AI利活用ワークショップの開催</b> <u>2,659</u>                      ・生成AIに関する基礎知識の習得から、行政事務への応用までを体験する                      行政職員向けワークショップを県内4地域で開催</p> <p>(2) <b>市町村へのDXプロデューサー(生成AI)派遣</b> <u>2,187</u>                      ・市町村のニーズに応じ、生成AIの機能や仕組み、利活用方法などについて指導可能な専門家を派遣(9団体程度を想定)</p>

令和6年度当初予算編成に伴う主要施策

(単位：千円)

課(室)名	科目			主要施策 事項名	予算額	前年度 予算額	事業の概要
	款	項	目				
国際政策課	2	2	7	豪州ニューサ ウスウェールズ 州交流促進費	19,496	19,614	<b>1 訪問団派遣</b> <span style="float:right"><u>18,118</u></span> ・時期：令和6年8月(予定) ・訪問団：県、県議会、県内団体等 ・内容：カウラ記念式典への出席、NSW州政府との協議
			総				企
地域課	2	2	7	ハワイ州 友好交流 促進費	7,543	66,604	<b>訪問団派遣</b> <span style="float:right"><u>7,543</u></span> ・時期：令和6年5月(予定) ・訪問団：県、県議会 ・内容：ワンヘルス分野の交流促進にかかるハワイ州知事との面談、 ハワイ州議会議長表敬 県人会との意見交換会
			総				企